

2022年5月29日(日) マイカ 豊漁丸

大潮:旧4月29日 満潮 12:50(28cm) 干潮 20:05(2cm) 満潮 翌日03:01(23cm) 敦賀

私 マイカ 9杯

ツレ マイカ 4杯 スルメ 2杯



※翌日、マイカは刺身で、スルメは肝味噌焼きで食べました。美味しかった。

16時30分 集合、受付 釣り座のくじ

17時30分 出船

20時05分 干潮 (2cm 敦賀)

11時30分 納竿

【マイカ仕掛け】

イカメタル

竿 ダイワ エメラルダス X イカメタル 65ULB-S

リール バルケッタBB 200HG PEライン0.5号 200m

竿 ソルパラ イカメタル 鉛スッテ10～30号

リール バルケッタBB 300HGDH PEライン0.5号 200m

リーダーはいずれもフロロ3号を1ヒロ

鉛スッテとドロップパーまでの間は1.2m。ドロップパーのハリスは5cm。

→ 小さな当たりを取るために、ハリスをもっと短くした方がよい。



オモリグ

竿 ソルパラ オモリグ おもり 12号～40号

リール レガリスLT 4000D-CXH PEライン0.8号 200m

→ 今日はオモリグを使わなかった。

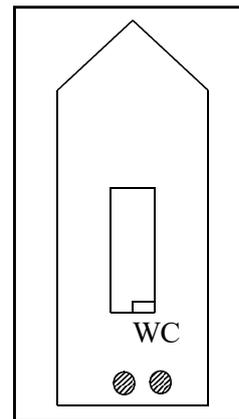
<ドラッグ調整>

※マイカは足が弱く、マイカが強くと、マイカ自身が引く力で足が切れてしまう。リールのドラッグはゆるめにした。合わせる時は親指でスプールを押さえながら行う。

【料金】 船代 ¥12,500 氷付き

【様子】

- 5番くじだった。大鱸に並んで座ることになった。
- 天気は晴れ、風はほとんどなし。波もなし。
- 「胴付きの人はおもり80号。イカメタルの人は20号。」水深は85mだった。
- 錨をおろしてかかり釣りだった。
- 「初めは底から10mまでを狙ってください。魚探に反応が出たら水深をアナウンスします。」とあった。結局、終日、底での釣りとなった。
- 日没前に一杯釣った。時間が経つが釣れない。右舷の鱸の方が上手に釣っている。釣り方を教えてもらった。これで釣れるようになった。
- 隣の方が「底から5mまでしかイカがいない。」と教えてくれた。



【釣り方】 <イカメタル>

(1) 教えていただいた釣り方

- ①スーッと竿先大きくあおって止める。
- ②ゆっくり竿先を下げてくる。

この時、軽くなったり違和感を感じたりしたら、当たりであるので、合わせる。
下げてくる途中で止めることもあった。

- ③一番下まで下げたら、少し待つ。
ここで当たることも多かった。

※下げてくるときより、止めているときに当たることが多かった。

※今日は底から5mまでしかイカがいないとのことだったので、ここを狙った。

※キビキビした動きによる誘いにはスルメが当たってくる。この誘いではマイカは釣れないとのこと。

※イカはシルエットを見ているから、餌巻きスツテには餌を丁寧に巻くこと。

(2) 以前の日記から

ア) 竿頭になった人の釣り方

マイカは、“ソフトな誘いとロングステイ”ということから、

- ①竿を2回あおって、20秒～30秒止める
- ②当たりがなければ、もう一回あおる。少し待つ。ここで当たりがないか、確認する。
- ③当たりがなければ、竿をあおり、竿先を下げながら、3回リールを巻く。(仕掛けを1.5mほど上げることになる。①にもどる。

胴調子の竿で釣る。

イ) 胴付き仕掛けの低速自動巻き上げで釣れたことから、
イカメタルでもゆっくりと一定の速度で巻き上げてくる。

ウ) フォールで誘うということから

棚の上まで巻き上げてきたら、もう一度、棚の下まで落とす。

このとき、5m間隔で止めて待つ。当たりがなければ、更に5m落とす。

【ヒット・アイテム】

- 私は、ドロPPERにしか掛からなかった。イーゼースリム 赤緑
- ツレはドロPPERと鉛スツテに掛かった。イーゼースリム 赤緑
四ツ目20号 赤緑

※隣の人が赤緑がよいと教えてくれた。